

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 5月12日更新

事務事業名		菊池環境保全組合構成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	市民生活部	課長名	上村 祐一郎
	施策	21	廃棄物の抑制とリサイクルの推進			所属課	環境衛生課	担当者名	大久保 隆一
	施策の柱	63	廃棄物の適正処理			所属班	環境衛生班	(内線)	1142
予算科目		会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 10197	根拠法令	菊池環境保全組合例規	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	昭和41年にし尿を共同処理するために泗水町、合志町、西合志町、菊陽町、大津町により設立された。昭和45年からごみ処理も併せて行なっていたが、平成17年8月からし尿処理は、菊池広域連合に移管された。菊池環境工場クリーンの森合志（令和2年度までは東部清掃工場）及び環境美化センターの運営管理費として合志市分の負担金を支出する。令和3年4月より菊池環境工場クリーンの森合志が本格稼働。最終処分場（埋立地・浸出処理施設）は令和3年度末に完成。令和5年4月より菊池環境保全組合が菊池広域連合へ統合されるため、本事業は統合廃止。
【業務の流れ】	負担金支払い事務、会議、研修会参加などに参加
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金（負担金）
【意見や要望】	議会から、ごみ減量化を推進し負担金の削減を行なうよう要請がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	菊池環境保全組合に対する本市分の負担金を支払った。(年4回) また、会議に出席し、構成市町と情報共有等の連携を図った。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 菊池広域連合運営事業へ統合となるため、本事業は統合廃止。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア: 会議・研修会参加回数 イ:	予算の主な増減の理由 菊池広域連合運営事業へ予算を移動することに伴う減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	菊池環境保全組合に対する合志市分の負担金	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 千円 ア: 菊池環境保全組合負担金 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	負担金を拠出し、菊池環境保全組合の適切な運営を図る	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) t ア: 事務組合のごみ処理量 イ:
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠 成果指標を「事務組合のごみ処理量」とした。目標値は将来見込まれるごみ排出量とした。		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
① 活動指標	回		4	3	10	5	0	0	0	0
② 対象指標	千円		717,403	412,077	286,715	286,715	0	0	0	0
③ 成果指標	t		15,148	15,113	14,458	14,882	0	0	0	0
投資	財源内訳	千円								
	国庫支出金									
	都道府県支出金									
	地方債									
	その他									
	繰入金									
入費	一般財源	千円	717,403	412,077	286,715	286,715				
	(A) 事業費計	千円	717,403	412,077	286,715	286,715	0	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	717,403	412,077	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	6	4	5	5	0	0	0	0
	延べ業務時間	時間	460	250	850	231	0	0	0	0
	(B)人件費計	千円	1,813	977	3,386	879	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	719,216	413,054	290,101	287,594	0	0	0	0

事務事業名	菊池環境保全組合構成事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した ごみ処理量は減少している。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 ごみ処理量の減少を目指す。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 廃棄物の発生抑制やリサイクル推進により、ごみ処理量を抑制を図ることができる。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業がない。菊池環境保全組合が令和5年4月に菊池広域連合へ統合されることに伴い、本事業は令和5年度から11237菊池広域連合運営事業へ統合廃止とする。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 廃棄物の発生抑制やリサイクルの推進により、ごみ処理量の抑制を図ることができ負担金を削減することが可能である。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 組合の運営や支払いに関する事務であり削減は難しい。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 合志市内のごみが対象であるので公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 組合の運営や支払いに関する事務であり適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

菊池環境保全組合に対する合志市分の負担金を支払った。会議に参加した。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						